

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30~13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL<0762>52-2271 FAX52-2273

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL<0762>22-2525 FAX24-2882

会長：鈴木 透 幹事：坂下 直人

情報委員長：磯野 洋明

1990年9月13日 第422号

「地球環境の保全」

(財)日本気象協会北陸センター

解説予報課技師 森島 光二氏



私達が住むこの地球は、生れて45億年と言う気の遠くなるような時間をかけて造り出されたものです。かけがえのない大切な地球を私達人間はわずかな時間の内に破壊しようとしています。

一昨年夏の夏に米国で記録的な熱波が発生した折に、この原因は、人類が長年に渡って多量の化石燃料を消費した結果であるとの気象学者の発表がありました。これにより、地球を取りまく厚さ10キロメートルの大気の層は、炭酸ガス等の増加により濃度が増し、大気中の熱の発散を妨げる温室効果と言う現象が有ることが、一躍脚光を浴びることとなりました。

現在地球の環境悪化の問題として、森林破壊や砂漠化の進行等がありますが、基本的な原因である温室効果の問題を改善しなければ気温気候の変化を止めることは出来ないと思います。このまま大気の温室効果が進めば、西暦2030年には炭酸ガスの濃度は2倍にもなり、気温は1.2℃から3℃程上昇すると言われていています。たかが1℃とは言え、昨年及び今年の金沢の冬の平均気温が過去の平均より3℃も高く、金沢気象台の104年に渡る観測史上最も高い記録でありましたことを考えると、大変重大な現象と考えられます。

大気の温暖化が進みますと、①気温の上昇 ②雨量の増加と降雨分布の変化 ③室戸台風(最大風速70m)以上の巨大台風の発生 ④海水の膨張による海面の上昇(40cm~1m)等が北半球の人口密集地帯に影響を与えるだろうと、気象庁が発表をしています。

先進国を中心に地球環境の悪化を止める為、今後化石燃料の使用量を各国年20%の削減を提唱していますが、発展途上国に於ては、経済上重大な制限となるとして反対しています。

又、削減を実施するにしても、①省エネルギー化への努力として、バイオマス発電、地熱発電、太陽エネルギーの活用 ②アマゾンの半分に相当する面積の植林 ③途上国への技術の移転や援助 ④新エネルギー開発資金の創出のための、化石燃料使用に対する課税等が、同時に考える必要があります。

一方、フロンガスの多用に伴い、大気中のオゾンが減少し、人間、植物生物に有害な紫外線の量が増えている事実があります。これら環境破壊の現象には国境がなく、全世界的な認識や改善のための協力はもちろん必要ですが、何よりも私達一人一人が地球環境の問題に関心を持ち、個人として出来ることを実行することが、今一番求められていると思うのです。

—金沢北RC例会講話より— (文責 磯野洋明)

「戦争。我が懺悔」(3)

越野 民男

捕虜志願



越冬。そして帰国する。それが最終目標でした。兎に角、苦勞し計画し、そして実行して来た様々。遂に目標達成だ。取り敢えずこの冬は暖かく過ごせるだろう。

さて我々は。過去戦争について色々教えこまれ、頭につめこまれて来た。苦しい時にも弱音を吐くな、これが日本軍隊だった。然しそれはすべて勝ちいくさだけのものであった。敗いくさには全く間に合わない。そんな教育はもう不必要。その日、その日を勢いっばいと生きて来た。

ソ連軍奉天へ進入して一ヶ月。

突然我が奉天航空廠(237部隊)宛に捕虜差し出し命令が届けられた。ソ連命令である。然し今は後の祭り、若しあの時に冷静な判断が出来たら……ソ連は奉天の部隊状況等詳しく知っている筈もない。これはきっと関東軍の奉天在住者が適当に割り当てたのだと気付いていた筈なのに。勿論捕虜とは書かれていなかった。ウラジオから日本へ送り帰す。迎いの船が来る迄一時作業についてはほしいと云うのである。我が部隊への割り当ては1,000名。服従しなければ関係指導者は処刑と暗に秘められてある。

1,000名とはとんでもない数。部隊に居る正規の軍隊は300名。残りは全部軍属である。しかも軍人軍属を問わず妻帯者は殆ど雲がくれして居り、今更集められる状態ではない。独身者の集団と云えば、当然我が霧島宿舎に白羽の矢が立てられる。部隊には軍属を含めたら3,000人以上は居た筈である。終戦になる迄は最年少者であり、未熟工、特訓だと云って初年兵同様に罵倒され酷使されて来た彼等。今から身がわりには「虫がよすぎる」。

部隊から再三催促の伝令がやって来た。同意か。反対か。幼い彼等には行く宛がある筈もない。すべて指導者である我々に任している。会議は昼も夜も繰り返えされた。宿舎に居た年長軍属達には行く先がある。既に殆ど逃亡したようだ。

国敗れたり。あゝされど且つての軍隊の命令系統は未だ生きてまゝ残って居た。少くとも若い我々宿舎在住の将校の心の中では頑として生き残って居たのである。命令に反抗出来ないだろう。残念ながら只服従するのみ。

秋雨の降る奉天の街、びっしょり濡れながら我々は行進した。涙は雨と共に流れた。「さらば奉天よ」何の為。集団強盗までして越冬にそして帰国にそなえたのだろうか。きっと今頃笑いながら収穫物を手にして居る者が居るだろう。

収容所についた途端「18才未満は帰宅させよ。事前に連絡してあった筈」そんな命令である。18才以上。そんな連絡が来ていたのか。あまりにも勝手過ぎないか。相手は誰か知らないが。同行した殆どの者は帰された。果たしてよかったのか。悪かったのか。苦勞して積み重ねたあの越冬用収穫品も大分もうないだろう。出発する時には尚策外にはいくばくかの中国人が居た筈。

我々指揮関係者一同は当然残された。「正直者は馬鹿を見る」。幼き彼等を守るためにやって来た筈だったのに。そして逃げるチャンスはいくらでもあった筈。無念の涙はつきせず頬をつたわった。

2ヶ月後、筏に乗って黒龍江を渡る。その時も夕暮れ近かった。満州の夕日は何時見ても大きくて赤い。地平線まで赤く染まる。

はなれて遠き満州の 赤い夕日に照らされて 友は野末の石の下

あゝ、されど我れ満州の石の下に眠られず。次は何処の果てで眠るやら。

迎いの船が来る迄一時的に作業を。シベリア本線へ合流した列車は、東の方、ウラジオの方へは走らなかった。「西か」叫んで倒れた老将校も居た。

一時だけの作業。迎いの船が来るまで。その日は4年半後にやっとおとずれた。4年余りにわたる一時的ラボーダ(作業)。

昭和24年が終る寸前、祖国の山、祖国の海を見る事が出来た。そして祖国の家族にも会う事が出来た。然しこの祖国も見ず、寒いシベリアの地で倒れ、帰らぬ旅に立った友の如何に多かった事か。思いは走りただただ笑えぬ自分でもあった。

戦争とは余りにも残酷だ。そこには正義も人道もない。正直も良心も必要ないのだ。詐欺、虚偽虐待そして殺生。どんな悪い事でも堂々とまかり通っている。

戦争には断固反対。孫子の代までも。死んでも参戦だけはさせたくない。

平和、平和、平和 何べん書いても書き足りない。何と素晴らしい言葉でしょう。 (完)

あとがき

ロータリーへ入会して18年過ぎた。公平と誠実をモットーに職業に専念する事が人類の幸福、世界の平和へ貢献する基盤となると教えられ体験もして来た。

捕虜の時、所謂スターリン共産主義が叩き込まれた。ブルジョア社会を打倒するための唯一の道は戦争だけだ。武力革命以外に共産主義へ到達する方法はないと。

その共産国は今や滅亡寸前の状態である。ポーランドとハンガリーそしてソ連でもロータリークラブが結成された。

共産主義は20世紀の一時的幻にすぎなかった様だ。



吉田富士夫会員画

第843回例会 夜間例会

◆ 8月30日(休)はれ 18:30~20:30 松魚亭

1. 交換学生紹介

2. 出欠 出席63名、欠席19名、出席率76.83%
(敬称略)昼受付の部

3. 来訪者

富山中RC 須賀正(眼鏡卸)
金沢RC 杓名修、塚越朋夫
蚊谷八郎
金沢東RC 中川衛、片岡進
中島秀雄、大津謙次郎、平井大承
大屋修、田村新次、広岡理魁
山崎修二
金沢西RC 篠原達郎、和田英夫
嶋崎美納利、唐沢修、疋田秀久
藤川範昭、若松明夫、松井正勝
加藤肇夫、小林武司
金沢南RC 得能節朗、朝倉宏三
香林坊RC 張田珠潮

4. ニコニコボックス

鈴木・坂下君 交換学生を迎えて。
石丸君 ジーン君を一年間よろしく願います。
松本君 娘の就職が決まりホッと致しました。
浅野君 メーキャップが続きましたのと、社員
と共にドイツのジーメンズ社、カボ社
ビタ社の研修旅行を無事に終えました
事を感謝して。
渡邊君 暑中見舞いです。
山本(幸)君 合田昌英先生の中日社会功労賞受
賞おめでとうございます。

合計12,000円 (累計 195,000円)

5. 今週のニュース

- 日銀公定歩合0.75%上げ年6%に。
- イラクで軟禁中の日本人男性 143人軍
事・石油基地へ連行される。
- 城北市民運動公園に金沢市民野球場完
成。

第844回例会 ガバナー公式訪問

◆ 9月6日(休)雨 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話 “ガバナー公式訪問にあたって”

第261地区ガバナー
四津谷仁朔氏

2. 出欠

出席61名、欠席21名
出席率74.39%
ビジター30名

3. 来訪者(敬称略)

七尾RC
青木米松
(シニア・アクチブ)
富山南RC
道島一男(住宅関連)



金沢RC 玉川久栄、小川利郎
岡能久、田邊良實、蚊谷八郎
永山憲三、辻作次郎、岩城実
織田義夫、沼正、杓名修
黒崎昌俊、高柳卓三、松本静夫
金沢東RC 浅田裕久、汐井利男
高桑秀治、越原悠三、大津謙次郎
示村均、飛田周彬、村端儀一
田村新次

金沢西RC 新村利夫
金沢南RC 橋本勝郎、飯田秀雄
清水昭男

4. 幹事報告 ○ 交換学生おこづかい

5. 御誕生日祝 5日 山本幸雄君
9日 滝 憲三君
10日 浅田豊久君
13日 中村省三君
15日 大村精二君
16日 山本章義君
26日 俵久代吉君

6. ニコニコボックス

四津谷ガバナー クラブのご相談にのり、皆様
を激励申し上げるため公式にお訪ねし
ました。本日一日よろしく願いま
す。
鈴木・坂下君 ガバナーと分区代理をお迎えし
て。
越野君 四津谷ガバナー公式訪問。本当に御苦
労様です。
飯野君 四津谷ガバナーを歓迎致しますと共に
宜しく御指導願ひ上げます。
土原君 四津谷ガバナーをお迎えして。御苦労
様です。
清水君 四津谷ガバナー、ようこそおみ
え下さいました。
乙村君 四津谷ガバナーようこそ。
坂下君 私の顔が新聞に出ましたので。
俵君 吉田会員の書かれた花束を持った美し
い女性の大変素適な誕生日カードを頂き
有難う御座居ます。
魚住君 ちょっと良い事がありましたので。
小杉(守)君 金沢国際ホテル山本会員様よりク
リスマスプレゼントでいただきました
(ロイヤルルーム一泊)9月1日に息子
夫妻で一泊させて頂きました。誠に素
晴しいお部屋で夢の様な一夜を過し感
激致しております。ありがとうございます。
中村(省)君 86回目の誕生日カードありがとう。
滝君 誕生日カードを頂き、ありがとうございます
ました。
大村君 誕生日カードありがとうございます。
いよいよ還暦になってしまいました。
山本(幸)君 お誕生日カード有難うございま
した。

合計36,000円 (異計 231,000円)

7. 今週のニュース

- 安保時代の元駐日米大使ライシャワー
氏死去。
- 北朝鮮団ソウル入り、分断後初
の首相会談。
- 金沢市長選に山出助役出馬表明。

#####

8月のクラブ日誌

8月2日(木) 理事会・クラブ協議会 松魚亭にて
8月6日(月) 金沢6RC幹事会 スカイホテルにて
8月9日(木) 早朝例会 仰西寺にて
8月23日(木) 友好・親睦委員会炉辺会合 松魚亭にて
8月30日(木) 夜間例会 松魚亭にて